



吉田公民館だより



発行 登米市吉田公民館
(指定管理者 吉田コミュニティ運営協議会)

TEL : 0220-55-2124
FAX : 0220-55-4528

吉田コミュニティ運営協議会



事業報告

吉田女性サークル（6月21日）



学習会の様子



消火器の説明を聞く皆さん



消火訓練の様子

開級式並びに第1回学習会を開催。10名の学級生が参加しました。今回の学習会では今年度の事業計画を立てました。たくさんの意見が出て、これからの事業が楽しみです。

学習会の最後には、公民館の調理室から出火した想定で避難訓練、消火器を使った消火訓練を学級生の皆さんに、ご協力いただき実施しました。

避難訓練後、登米消防署南出張所の方から消火器の使い方を説明していただき、いざ消火訓練開始。「火事だー！」と大きな声で叫び、的に向かって消火活動を体験しました。

ご協力いただいた女性サークルの学級生の皆さんありがとうございました。

吉田陶芸教室（6月30日）



吉田地区で大人気の吉田陶芸教室。今年度も東和焼瑞樹窯の笠政彦氏を講師に迎え、第1回目の学習会を開催しました。14名の学級生が参加しました。

最初に粘土の種類やろくろの使い方、作品の作り方を説明していただきました。作品作りが始まってからは、先生の手を借りながら皆さん夢中で取り組んでいました。

試行錯誤しながら作った作品に皆さん満足されているようで、「焼き上がりが楽しみ！」「素敵な作品ができた！」と喜んで帰られました。

焼き上がりは8月の予定です。どんな風に焼き上がってくるか私たちも楽しみです。

裏面もご覧ください



歴史講座「温故知新」(7月7日)



今年度第1回目の学習会を開催しました。受講生18名が参加し、講師は渥美館長が務めました。

今年2月に公民館が発行した「保存版 吉田地区遺跡マップ」を参考図書として、縄文時代から江戸時代までの吉田地区の概略について、表紙の仙台藩御領分絵図彩色写本から見開きの遺跡地図や遺跡地名表、裏表紙の板碑や安永風土記に記載された吉田地区の事柄などについて学びました。

特に往古の北上川の流れを示す地形分類図には驚いていたようです。今回は全般的な話でしたが、次回以降はテーマを絞っての学習会にしたいと考えております。まだまだ途中参加OKですので公民館に問合せ願います。

健康スポーツ教室(7月14日)



学級生から大人気の、株式会社マルシンの薄井愛氏を講師に迎え学習会を開催。12名の学級生が参加しました。

最初に、これからの季節気を付けなければいけない熱中症の軽度、中度、重度の症状の違いや、対処方法などを教えて頂きました。

その後、簡単にできるストレッチや筋力トレーニングを教えて頂き、皆さん楽しそうに体を動かしていました。学級生の皆さんからは、「今年度も、愛先生に教えてもらえて嬉しい。」「覚えやすいもの多くて、家でも続けられそう。」ととても好評でした。

これから暑い日が続きますが、少しでも体を動かし健康に気を付けて過ごしていきたいですね。

今後の公民館事業(予定)

7月25日(月)	吉田女性サークル 第2回学習会「紙で作る蓮ラタン」
7月28日(木)	健康スポーツ教室 第2回学習会
7月29日(金)	キッズサークル 第3回楽習会「移動研修会」(米山地区3公民館合同)

館長の戯言(ざれごと) No. 9 「おぼこ」 (参考図書: 方言に生きる古語)

我が公民館職員のKさんが10月にめでたく出産予定です。めんこいおぼこを産んでもらいましょう。ということで、今回は赤ちゃんを意味する方言「おぼこ」を取り上げます。くれぐれもおぼんこではありません。

「おぼこ」の語源は赤ちゃんを意味する古語の「うぶこ(産子)」で、産声や産着の「うぶ」です。その「うぶこ」が変化して「おぼこ」に、室町時代の国語辞書には「赤子=をぼこ」と載っているそうです。江戸時代中頃には都で「おぼこ」を赤子の意味から世間知らずやすれていない「おぼこ=うぶな女の子」という意味に変化して使われるようになって全国に広まり、本来の「おぼこ=赤ちゃん」は方言として地方に残ったといことのようにです。